



〒108-6014 東京都港区港南二丁目 15番 1号 品川インターシティ A 棟 14階 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎七丁目 9番 66号 i-PRO ビルディング

2023年3月28日

# グローバルデザインコンペ「Future Design Challenge」の受賞作品が決定、 Gold Award はインドネシア Agnes Filica Giovinna 氏の「SOUND BRICK」に 「エンジニアリングの力で未来の気候危機を回避する」をテーマに全世界からアイデアを募集

i-PRO株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:尾崎 祥平、以下 i-PRO)は、未来の課題を解決するグローバルデザインコンペ「Future Design Challenge」の受賞者が、インドネシア Agnes Filica Giovinna 氏の「SOUND BRICK」に決定したことを発表いたします。



今回の募集テーマである「エンジニアリングの力で未来の気候危機を回避する」に対し、様々な国・地域から多様な応募がありました。寄せられた作品には、既に顕在化しているもしくは近い将来顕在化するであろう問題を考え抜き、それを巧みに解決するコンセプトを具体的に形に落とし込んだ、非常にレベルの高いアイデアが数多くみられました。

4 名の審査員が厳正に評価した結果、Gold Award にはインドネシアの Agnes Filica Giovinna 氏の「SOUND BRICK」が、Silver Award には日本の team moene の「moene」と、韓国/日本のクリエーター集団 IVAAIU City による「ESC 1」が選ばれました。





〒108-6014 東京都港区港南二丁目 15番 1号 品川インターシティ A 棟 14階 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎七丁目 9番 66号 i-PRO ビルディング

## **Gold Award**

「SOUND BRICK」Agnes Filica Giovinna (インドネシア)



作品コンセプト: SOUND BRICK は、音波を吸収して電気エネルギーに変換し、化石燃料の使用を減少させる発泡スチロール製の壁である。ソーラーパネルや風力発電に比べ、メンテナンスの手間や材料、広大な土地も必要ない。 SOUND BRICK を自宅やオフィスに設置し、再生可能エネルギーで電気を楽しむことがでる。



**プロフィール**: Agnes Filica Giovinna は、BINUS Northumbria School of Design でグラフィックデザインとスクリーンベースのインターフェイスを専攻している学生。アジアと西洋の影響を受けながらインドネシアで育った彼女は、論理的で想像力豊かなグラフィックデザイナー。現在、彼女は自分自身を様々な形や色のデザイナーとして捉えている。

審査員コメント: (La Myra Bening 氏) コンセプトがかなり明確に提示されており、デザインプロセスも明確に説明されている。 (岩佐 琢磨氏) 非常に面白いコンセプトで、実現できれば相当なインパクトがありそう。



〒108-6014 東京都港区港南二丁目 15 番 1 号 品川インターシティ A 棟 14 階 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎七丁目 9 番 66 号 i-PRO ビルディング

## Silver Award

「moene」 team moene (日本)



作品コンセプト: 藻の力で CO2 を回収しながら発電する製品で、どこでも電気を作ることが可能。

作品コンセプト動画: https://youtu.be/lgYaeqFexaY



プロフィール: team moene は馬問津(マモンシン)氏と猿渡千怜氏から構成されるユニット。馬氏は多摩美術大学を卒業、UX デザイナーとしてユーザー体験とクリエイティビティを起点として、サービス構想から UXUI デザインまで一気通貫でデザインを行うのを得意とする。猿渡氏は武蔵野美術大学を卒業し、社会課題の解決に興味を持ち、ビジュアルデザインを軸としながら表現媒体にとらわれない課題解決に取り組むデザイナーとして活躍している。二人はデジタルマーケティングのリーディングカンパニーである電通デジタル社に所属している。

審査員コメント: (La Myra Bening 氏) 藻類から電気への応用に関する素晴らしいコンセプト。プレゼンテーションも非常にわかりやすく表現されている。





〒108-6014 東京都港区港南二丁目 15 番 1 号 品川インターシティ A 棟 14 階 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎七丁目 9 番 66 号 i-PRO ビルディング

# **Silver Award**

「ESC 1」 IVAAIU City (韓国/日本)





**作品コンセプト**: ESC 1 は、山火事避難民のためのウェアラブル救助信号装置。平常時にエネルギーを収集し、災害が発生した際に、救助ヘリや監視ドローンへの遭難信号として使用することを支援する。また、周囲の緊急機関と連絡を取るために必要な電気機器の充電にも使用することができる。









プロフィール: IVAAIU City は、ソウルと東京を拠点に活動するニューメディアクリエイター集団。様々なジャンルのアーティストやデザイナーで構成され、現代の思想を反映した新しい芸術表現の創造を追求している。都市計画家/建築家のイ・ドングク・アゴス、ニューメディア建築家のパク・ソンス、建築家のソ・ハンチョル、サウンドデザイナーのヒロト・タケウチ、オブジェクトデザイナーのユン・ジインで構成。彼らの代表作のひとつに韓国・ソウルの ZER01NE が発表した「Robot Architecture Archetype(2022)」がある。ESC 1(SSALT\_IN)プロジェクトでは、キウンク・キムがインダストリアルデザインとクリエイティブディレクションを担当。彼の作品の多くは、人間を観察し、物理的な環境において意味のある相互作用を構築することから始まる。

審査員コメント: (岩佐 琢磨氏) 大変きれいなデザインをまとめている。



〒108-6014 東京都港区港南二丁目 15番 1号 品川インターシティ A 棟 14階 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎七丁目 9番 66号 i-PRO ビルディング

# Future Design Challenge 2022 開催概要



- ■応募期間 2022 年 12 月 23 日(金)~2023 年 2 月 28 日(火)
- Future Design Challenge 公式ページ https://futuredesignchallenge.com

### ■ Future Design Challenge が生まれた経緯と目指すこと

「Future Design Challenge」は、デザインを通じて未来に発生しうる課題の解決にチャレンジしていく取り組み。テクノロジーが発展しすぎた未来社会の課題に対して、解決策としてのデザインが出せるインパクト。その大きさを信じる世界中のクリエイター・イノベーターからのアイデアを募集。

#### ■ 概要

2022 テーマ: エンジニアリングの力で未来の気候危機を回避する

アワード: 最優秀賞 1点, 優秀賞 2点, 賞金ほか、i-PRO 社訪問ツアーなど

提出物:コンセプト名称、概要説明、ビジュアルコンセプト、ピッチ/プレゼンテーション、ビデオ等(※有形無形を問わない)

ターゲット: デザイナーを中心に、学生から社会人、企業にお勤めの方まですべての方にひらかれたコンペ

#### ■ 審査員(敬称略)

- ・La Myra Bening (デザイナー、Future Design Challenge 2021 Gold Award 受賞者)
- ・岩嵜 博論(武蔵野美術大学 クリエイティブイノベーション学科 教授、ビジネスデザイナー)
- · 岩佐 琢磨(株式会社 Shiftall 代表取締役 CEO)
- · 廣瀬 智之(Tomoshi Bito 株式会社 代表取締役社長)

## i-PRO株式会社



〒108-6014 東京都港区港南二丁目 15番 1号 品川インターシティ A 棟 14階 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎七丁目 9番 66号 i-PRO ビルディング

#### ■ i-PRO 株式会社について

i-PRO 株式会社は、セキュリティ監視、パブリックセーフティ、そして医療用イメージングの各分野に欠かせないセンシング・ソリューションの世界的なリーディングカンパニーです。パナソニックにおける 60 年以上にわたる数々のセンシング技術とイノベーションを継承し、2019 年に設立されました。

私たちは、一瞬も見逃さない高度なセンシング技術とあらゆる環境に対応する信頼性の高いソリューションで、人々の命を守り救うプロフェッショナルをサポートし、より安心安全な社会の実現に貢献します。

#### 【お問合せ先】

i-PRO 株式会社 コーポーレートブランディング (担当:佐藤、栗原) pr@i-pro.com 080-7393-0572 (栗原)